

長崎大学の感染症研究施設の今をお伝えする

BSL-4 Report

Vol.5
2022.9.



高度感染症研究センターへ

長崎大学は、高い安全性が確保された実験施設 (BSL-4施設)を整備し、その施設を用いて、致死率が高く、有効な予防法や治療法がない感染症の研究を推進すると共に、それを担う人材を育成することにより、人類に貢献することを目指しています。

2017年に感染症共同研究拠点を設置してBSL-4施設整備に向けて準備を行ってきました。

2021年7月にはBSL-4施設が竣工し、2022年4月には教育・研究活動及びBSL-4施設の管理運営業務を行うセンター本館（研究棟）の運用を開始しました。

2022年4月に感染症共同研究拠点は、学部や大学院と並ぶ附置研究所「高度感染症研究センター」として新設されるとともに、全国の関連研究者が利用できる共同利用・共同研究拠点として文部科学省から認定されました。

引き続き地域のみなさまとともに

BSL-4施設の整備計画については、地域の皆様へ詳細をお伝えして意見交換するために「地域連絡協議会」を設置し、これまでに41回開催しています。協議会では皆様のご意見をお伺いしながらその運用方法や安全管理体制の構築を進めてまいりました。この他にも、市民公開講座、自治会での説明会なども重ねてきました。

本広報誌では、引き続き地域連絡協議会での意見交換等の様子をお伝えするとともに、感染症に関する身近な話題や最新の研究情報などをお届けしていきます。

BSLとは、バイオセーフティーレベル(Biosafety Level)の略で、ウイルスや細菌などの病原体を生物学的な危険度で分類した指標であり、同時にそれらを取り扱う実験施設の分類です。病原体の分類は、その病原性(病気の重篤度、感染性等)、ワクチンや治療法の有無、公衆衛生上の重要性を考慮して、危険度の高い方からBSL-4~BSL-1に分類されています。それに合わせて、実験施設も、病原体封じ込めレベルや管理レベルの高い方からBSL-4~BSL-1に分類されています。感染すると、有効な治療法がなく、また予防法もない病原体(エボラウイルスやマールブルグウイルス等)にも対応できる、安全性を十分に備えた施設がBSL-4施設です。



お問合せ先 ご意見・お問い合わせはこちらまでお気軽にご連絡ください。

長崎大学高度感染症研究センター

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号

フリーダイヤル 0120-095-819

より詳しくお知りになりたい場合は、ホームページをご覧ください。

ファックス 095-800-4301

ホームページアドレス <https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp>

